住宅履歴保管
きた住まいるサポートシステム

住宅を良好な資産として長期的に維持管理していくために、設計や施工など家づくりに関する住宅履歴情報を保管し、その情報は将来のリフォームや住み替えをするときに活用することができます。

センター
マスコットキャラクター
ハウリー

例えば…

- 手狭になったから2階を増築したいけど耐震性が不安
- 将来、住宅を売る時に性能の良さをアピールしたい

こんな時に**住宅履歴情報**が役に立ちます。

北海道建築指導センターは**北海道**から**保管機関の指定**を受け、
住まいの維持管理や**リフォーム**を
履歴情報の長期保管で支援します。

保管手数料（令和4年1月現在）　（消費税10%込）

保管区分	保管期間	1件あたりの手数料の額
新規住宅履歴保管料（新築住宅・既存住宅）	30年	27,500円（審査併願あり※ 25,300円）
住宅履歴延長保管料	10年	11,000円
	20年	16,500円

※建築確認審査、適合証明（フラット35）などをセンターで審査した場合、割引料金が適用となります。

きた住まいるサポートシステムサイト　https://support.kita-smile.jp/

【新築住宅・既存住宅問わず保管可能】

きた住まいるサポートシステムによる保管の5つのメリット

① 最初の保管期間は 30 年の長期保管で、さらに延長保管できる
② 長期優良住宅の住宅情報記録に対応
③ **住宅ラベリングシート**で、住宅性能や特長が一目でわかる
④ 保管された情報はいつでも閲覧でき、将来のリフォームや住み替えをする際に活用できる
⑤ 第三者機関（(一財)北海道建築指導センター）に保管されるから安心

◆北海道建築指導センターは、北海道から、住宅履歴情報の保管機関として指定を受け、お預りします。

住宅ラベリングシートにより、住宅性能の「見える化」で安心※

住宅ラベリングシート

建てた人は

我が家の基本性能や特長を、住宅ラベリングシートにより確認できます。

これから建てる人は

住宅ラベリングシートの一部は、きた住まいるメンバーの実績として Web で閲覧することができ、住宅事業者選びの参考にできます。

※2017 年以前に住宅履歴情報を保管した住宅の一部は、該当しません。

住宅履歴の保管で、リフォームや住み替えに活用

きた住まいるサポートシステムにより、設計や施工など家づくりに関する住宅履歴情報が保管されます。保管された情報はいつでも閲覧することができ、将来のリフォームや住み替えをする際に活用することができます。

お問い合わせ先：一般財団法人 北海道建築指導センター　企画総務部企画総務課
札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番地　札幌北三条ビル 8 階　TEL011-241-1893